



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Yamaguchi Japanese Red Cross Society

赤十字やまぐち

2016
Spring
春号

発行／日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口県山口市野田172-5 TEL.083-922-0102 <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>



困っている人、苦しんでいる人をなんとかしたい。誰もが持っているその想いが赤十字です。

この山口県でも、たくさんの人が「人々のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字に関わり、活動しています。赤十字はあなたの力、あなたの参加を待っています。

震災直後の被災地を進む日赤山口県支部救護班 2011.3.18撮影

東日本大震災から5年… 復興への支援はまだまだ続いています

あの東日本大震災から5年。被災地では街そのものを造り直す大規模な工事や生活、産業の再建・復興に向けた取り組みが始まっていますが、その一方で各地の仮設住宅には、今なお、多くの被災者が元に戻れないままに不安定な生活を続けておられます。

日本赤十字社では、震災の直後から今日まで、医療救護班の派遣などの緊急支援や海外からの1,000億円を超える救援金をもとにした、生活再建から福祉・医療・教育などの復興支援事業、3,300億円を超える義援金の受付などを行ってきました。「わたしたちは、忘れない。」日本赤十字社では、被災者の気持を汲み取り、震災の風化を防ぐと共に教訓にし、日本全体でたすけあいや防災・減災の意識を高めていく取り組みを今後も続けていきます。



私たちは、忘れない。
Forever remembered.



県民の皆様へ

日本赤十字社山口県支部長 村岡副政

日赤山口県支部では、新年度、これまでの大規模災害等を想定した救護体制の整備充実や救急法等の講習普及、赤十字ボランティア・青少年赤十字の育成推進などに加え、日赤が作成した防災教育教材の活用や下関地方気象台・気象予報士会と連携した防災ワークショップなどを行い、県内各地域や学校の防災力・減災力アップに向けた取り組みを一層充実していきたいと考えています。

近年、こうした赤十字の活動のための資金は、急激に大きく減少していますが、人道・博愛を基本理念とする赤十字のいのちと健康、尊厳を守る活動は、今後も維持し、継続していく必要があります。引き続き、社員・県民の皆様のご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。

日本赤十字社山口県支部のホームページで最新情報をチェック♪
<http://www.yamaguchi.jrc.or.jp/>

日本赤十字社山口県支部公式facebookはこちら

日赤山口県支部

検索

Find us on
Facebook
<https://www.facebook.com/jrcyamaguchi>



みなさまからご協力いただいた資金をもとに “いのちを救う・せいかつを支える・ひとを育む”活動をしています。

【平成28年度予算】

単位(千円)

歳入:283,000

- ・社資収入 200,000
- ・繰入金収入 11,800
- ・貸付金償還金収入 40,000
- ・雑収入 9,200
- ・前年度繰越金 22,000

歳出:283,000

- ・災害からいのちを守る活動 38,563
- ・いのちと健康を守るための各種講習活動 18,470
- ・奉仕のこころを育む活動 21,702
- ・医療・血液事業・社会福祉の推進 8,584

- ・赤十字の国際活動や全国における事業の推進 30,631
- ・市町における赤十字事業の推進 38,600

- ・赤十字思想の普及と社員増強のための活動 41,250
- ・償還金の支出 40,000
- ・支部事業の運営 43,200
- ・予備費 2,000

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、この予算には含まれていません。

2月8日、山口市で開催された日本赤十字社山口県支部評議員会において、平成28年度の事業計画と歳入歳出予算案について審議・承認されました。

1. 赤十字の使命に基づく最も重要な事業 災害からいのちを守る活動(災害救護活動)

あらゆる災害からいのちと健康を守るため、医療救護班を編成して実践的な訓練や研修を行うとともに、救援物資(毛布、緊急セットほか)の備蓄などを進めています。また、県内各地で防災講習を実施し、防災・減災のための普及・啓発活動に取り組んでいます。

大規模災害等を想定した救護体制の充実

- ①医師や看護師等の救護員の研修訓練を実施
- ②災害救護装備・救援物資の充実



避難所を巡回し被災者を支援



大型テントを展開し傷病者受入れを訓練

災害被災者救護

災害や住居火災等による被災者に対し、毛布や緊急セットを配付



ラジオやライト等が入った緊急セット

臨時救護

マラソン大会等の行事に救護員を派遣し、傷病者に対応



万が一に備え大会をサポート

防災・減災のための啓発活動

炊き出し等の防災講習を実施し、地域の防災・減災力向上に貢献



災害時に備え地域で防災講習を実施

2. いのちと健康を守るための知識と技術を普及

各種講習を実施して、困ったり、苦しんでいる人を互いに助け合えるよう活動しています。

いざという時のために(救急法)

事故の予防や手当の基本、AEDの使用方法など



学校の授業で救命手当を体験



手当の的確さを競う、救急法競技大会を開催

すくすく元気に育てるために(幼児安全法)

乳幼児に起こりやすい事故・けがの手当など



幼児に対する救命手当

いつまでも元気でいるために(健康生活支援講習)

寝たきりを防ぎ、高齢者の自立のための知識と技術を普及



ベッドから車いすへの移乗

水の事故を防ぐために(水上安全法)

事故防止と溺れている人の救助法など



服を着たまま泳ぐ着衣泳

家庭でできるあんま術(家庭あんま術)

病気の予防や健康増進のために、山口県独自で実施

受講者の声

緊急を要する現場に遭遇し、講習の内容を思い出しながら救命処置を行いました。多くのことを教わっていたおかげで命を救え、受講して本当に良かったと改めて感じました。

山口市 水田 仁さん



3. 赤十字ボランティア

県内各地で53グループ、約13,500人が活動しています。



救命手当の普及



若い力を地域のために



青少年育成をサポート



非常食の炊き出しで食事を支援



災害時には被災地で多様に活動



通信訓練と活動PR



参加者の声

子ども達から言われた「ありがとう」がうれしくてボランティアに参加しました。今では、みんなが笑顔になってくればと思い、応急手当や炊き出し等の自分が身につけた知識や技術を地域でお伝えしています。

山陽小野田市 福本則夫さん

活動のお問い合わせ、ご依頼は…

日赤山口県支部事業推進課

083-922-0102

4. 青少年の「生きる力」を育てる 青少年赤十字

青少年赤十字では、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の3つの目標に向けて実践するプログラムを学校教育の中で活用し、子どもたちが主体的に「気づき、考え、実行する」態度を身につける取り組みを推進しています。



リーダーシップを学ぶトレーニング・センター。協力しながらフィールドワーク

海外の仲間とつながる国際交流

山口県と韓国の青少年赤十字メンバー(中・高校生)がお互いの国を訪れ、それぞれの国で交流プログラムを体験し、歴史や文化などを学びながら国を越えた友情を深める交流事業を平成28年度から行います。

いのちを守る防災教育

災害の正しい知識を身につけ、「気づき、考え、実行する」力を発揮して、危険からいのちを守る行動をとることができるようになることを目指す取り組みを県下各地で行います。



大雨防災ワークショップ



防災教育教材

「まもるいのち ひろめるぼうさい」

県内の全学校に配布しています。

5. 災害からいのちを守るため地域での「防災・減災」を推進

地域の環境・条件をふまえ、災害時にいのちを守るため、自ら考え、判断できるよう体験学習会を進めています。



災害時に地域で助け合えるようなマップ作り



日頃からの備えとして非常用持ち出し袋を作成



けがをした時のために手当の方法を紹介

山口県内の赤十字施設は今



■総合病院 山口赤十字病院

～「知っちゃる会」をご存知ですか?～

山口赤十字病院の「知っちゃる会」では、地域の方々に健康や医療に関する知識・情報を提供する活動を行っています。

平成27年度からは主に山口・防府医療圏内の各地域へ向かい、皆さまのご依頼のテーマについて説明等をさせていただく「出張知っちゃる会」も始めました。4月から12月までの活動は5件ですが、各回とも多くの方にご参加していただきました。

日常業務との兼ね合いがあり、出張できる日時等に制約もありますが、可能なかぎりご依頼にお応えし、活動を続けたいと考えています。

(診療科目) 内科、消化器科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、麻酔科、(緩和ケア科) (病床数) 475床

小野田赤十字病院

〒756-0889 山口県山陽小野田市大字小野田3700番地
TEL.0836-88-0221 FAX.0836-88-2733
http://www.onoda-redcross-hosp.jp/

(診療科目) 内科、消化器科、循環器内科、呼吸器科、神経科、外科、整形外科、肛門科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科 (病床数) 一般病床40床、療養病床92床 (老人保健施設) 入所定員100名



山口県赤十字血液センター

〒753-8534 山口県山口市野田172-5
TEL.083-922-6866 FAX.083-922-7073
フリーダイヤル.0120-456-122
http://www.yamaguchi.bc.jrc.or.jp/



今 急激 に減少しています！

赤十字の活動資金への継続的なご協力をお願いします！

世界190の国と地域に広がる赤十字。人種や宗教、政治的な対立がある中で、「人間のいのちと健康・尊厳を守る」人道的事業を展開するには、中立や公平が保たれなければなりません。そのために、皆様方一人ひとりからお寄せいただく善意の「活動資金」が必要です。
いずれでも、ご協力いただきやすい方法で、ご支援をお願いいたします。

- 従来通りの500円以上/年の社費や、任意の金額の寄付金
- いのちを守る赤十字会員(山口県内のコンビニへのAED配備など赤十字の使命に基づく活動への支援)の会費
1口 2,000円 個人1口以上/年 法人5口以上/年

いのちを守る
赤十字会員については
6ページを
ご覧ください

活動資金へのご協力方法

①自治会・町内会や赤十字ボランティアを通じて

②各市町の赤十字窓口、日赤山口県支部や県内赤十字施設へ直接持参

③郵便局・銀行での振込

■郵便局でのお振込

口座記号番号	01590-3-4076	加入者名	日本赤十字社山口県支部
--------	--------------	------	-------------

- ・窓口でお振込いただいた場合は、振込手数料は無料です。
- ・郵便局備え付けの振込用紙をご利用いただけます。(専用紙をお送りすることもできますので、必要な場合は山口県支部までご連絡をお願いします。)
- ・正確な入金確認を行うため、いのちを守る赤十字会員にご加入いただける場合は「いのちを守る赤十字会員」と払込取扱票の通信欄にご記入いただくようお願いいたします。
- ・入金確認後、税制上の優遇措置が受けられる領収書をお送りします。

■銀行でのお振込

金融機関	口座番号	口座名義
山口銀行山口支店	(普通) 100606	日本赤十字社山口県支部 支部長 村岡嗣政
西京銀行山口支店	(普通) 2075763	日本赤十字社山口県支部 支部長 村岡嗣政

入金を確認し、税制上の優遇措置が受けられる領収書発行などを行うために、銀行での振込をご希望の場合は、山口県支部までご連絡をお願いします。



④クレジットカード決済(2,000円以上からお取り扱い)



お持ちのクレジットカード(Visa、Master Card、JCB、American Express、Diners Club)で簡単決済!

⑤コンビニ決済(2,000円以上からお取り扱い)



お近くのコンビニ(ローソン、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、サークルk/サンクス、ミニストップ、セイコーマート)から

⑥銀行決済(2,000円以上からお取り扱い)



Pay-easyやネットバンク(楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行)から

⑦赤十字支援自販機や募金箱

協賛店に設置してある赤十字寄付金付自動販売機での飲み物の購入や市・町役場、協力団体、各種イベントで設置する募金箱から(設置のご協力もお願いしています。)

詳しくお知りになりたい方は、日赤山口県支部ホームページ(www.yamaguchi.jrc.or.jp)をご覧ください。また、総務課(083-922-0102)までお問い合わせください。



会費の納入については5ページをご覧ください

災害時の
避難所生活
を少しでも
過ごしやすい

赤十字の
使命に基づく
活動の充実

助け合い
支え合える
地域づくり
の支援

青少年に
生きる力を
育む

24時間
いつでも
使える
AED配備



募集状況報告(平成28年2月22日現在)

609名・法人 1,556,000円

いのちを守る

Red Cross Save Lives Membership

赤十字会員

入会随時
受付中!

会員特典

- ・個人会員の皆様には、認証番号入りで身元・連絡先・緊急避難場所等を記入できるオリジナル会員証を交付
- ・法人会員の皆様には、額入り会員証を交付
- ・入会時に、いのちや健康を守るために手元にあると役立つ「赤十字ブックレット(救急法等)」、「緊急用呼び笛」等を贈るほか、定期的に赤十字情報をお届け



東日本大震災復興 5周年イベント開催

日時:3/21(月・祝) 9:30～
場所:ニューメディアプラザ(山口市)
1階フロア、イベントホール

内容:非常食炊き出しや起震車「ゆさゆさ号」での「最大震度7」の体験など、体感しながら学んで災害に備えるプログラムが盛りだくさん!

東日本大震災義援金

平成23年3月14日～平成28年2月22日まで

山口県支部での受付:14億2,632万6,260円

★募集期間が平成29年3月31日まで延長になりました。

～その他各種イベント等の最新情報は、ホームページやfacebookをご確認いただくか、日赤山口県支部総務課(083-922-0102)までお問い合わせください～



赤十字ライトアップ運動

海峡ゆめタワー(下関市)も、
5/7(土)～9(月)の3日間は赤と白の光でライトアップされます

5月8日は世界赤十字デー。19世紀に「敵味方の区別なく救う」という戦時救護を主導し、国際赤十字を創設したアンリー・デュナンの誕生日です。

今年初めて日本赤十字社では、多くの人々に「人道の大切さ」について改めて考え、理解を深めていただくきっかけにさせていただけるよう、世界赤十字デーを中心に、全国一斉に取り組むライトアップ運動を呼びかけています。

皆様も一緒に、赤十字に思いを寄せていただければ嬉しいです。

【参加方法】

日時:5/8(日)又は同日を含む一定期間の日没後
方法:“赤十字”が浮かび上がるような照明、又は全面(一部)の赤色照明で施設等をライトアップする
★ご参加いただける方は支部総務課までご一報ください。
ホームページやfacebookでご紹介させていただきます。



高額寄付者のご紹介

日赤活動資金へご協力をいただきありがとうございます。

ご協力いただいた個人・法人の皆様

10万円以上

・竜王薬局様(山陽小野田市)

ほか8名

平成27年8月から平成28年1月末日までに10万円以上のご寄付をいただいた個人・法人の皆様のうち、了承が得られた方のみを掲載しています。

平成27年度NHK海外たすけあい



平成27年12月1日
～25日まで
山口県支部での受付:
792,031円

街頭募金で呼びかける
山口県青年(学生)
赤十字奉仕団員